



～今回のMPMでの政策変更について、2016年1月の調査開始以来初めて全ての回答者（144先）が「引締」の見方を示した。3か月先の国債金利予想では引き続き回答者の大半が「上昇」を予想しており、2年国債で全体の94%、10年国債で81%を占めた。

### 【調査の総括】

- 今回のMPMでの政策変更について、2016年1月の調査開始以来初めて全回答者（144先）が「引締」の見方を示した。
- 3か月先の無担保コールON金利予想は、「上昇」を想定する先が全体の96%（前回比+1%）となった。一方、現状対比「不変」を想定する先は全体の4%（前回比▲1%）。
- 3か月先の国債金利予想では引き続き回答者の大半が「上昇」を予想（2年債：89% → 94%、10年債：78% → 81%）。現状対比「不変」を予想した先はやや減少（2年債：10% → 6%、10年債：21% → 18%）。「低下」を予想した先は10年債で全体の1%であった。

### 【調査の概要】

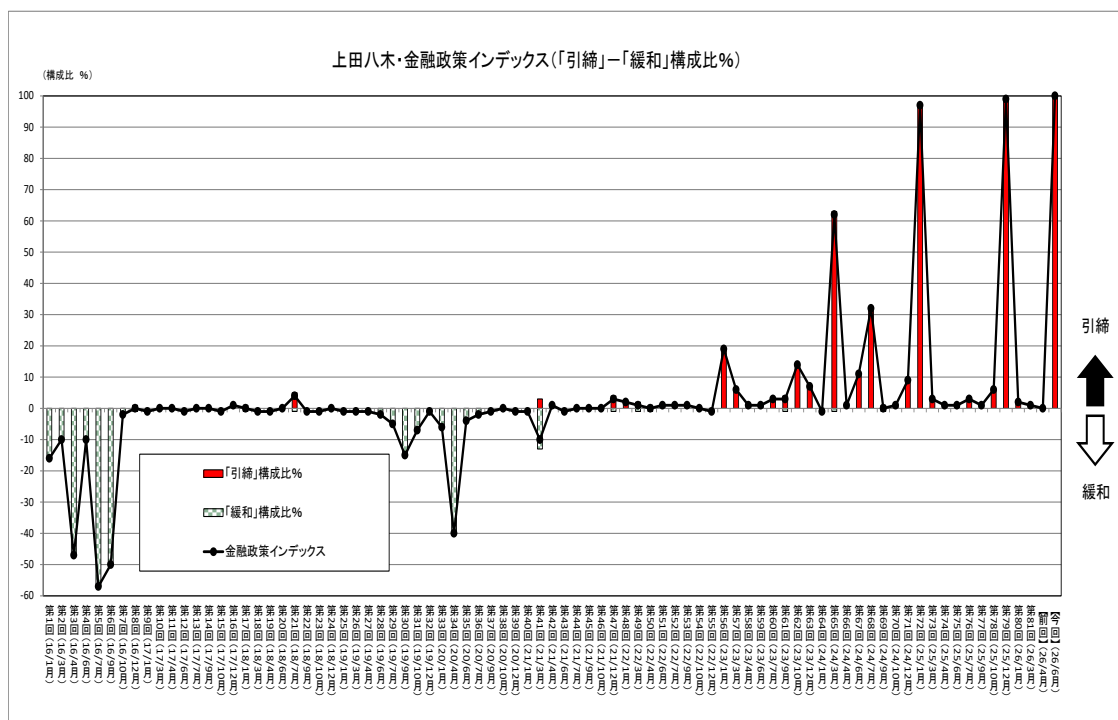
調査対象	弊社と取引のある銀行、証券会社、保険会社、事業法人などの市場取引関係者（156先）
調査内容	日本銀行の金融政策決定会合における結果予想と、3か月先の金利見通し
調査方法	2026年6月9日～11日の3営業日間、電話等によるヒアリングにより実施
回答率	92.3% （回答者数144先<Q 1における回答者数>）

### 【調査の結果】

（Q 1）日本銀行の次回の金融政策決定会合（6月15日～6月16日）における決定について

回答者の100%が「引締」の見方。「不変」「緩和」の見方はともに0%。

上田八木・金融政策インデックス（「引締」－「緩和」構成比%）は、「100」（前は0）であった。



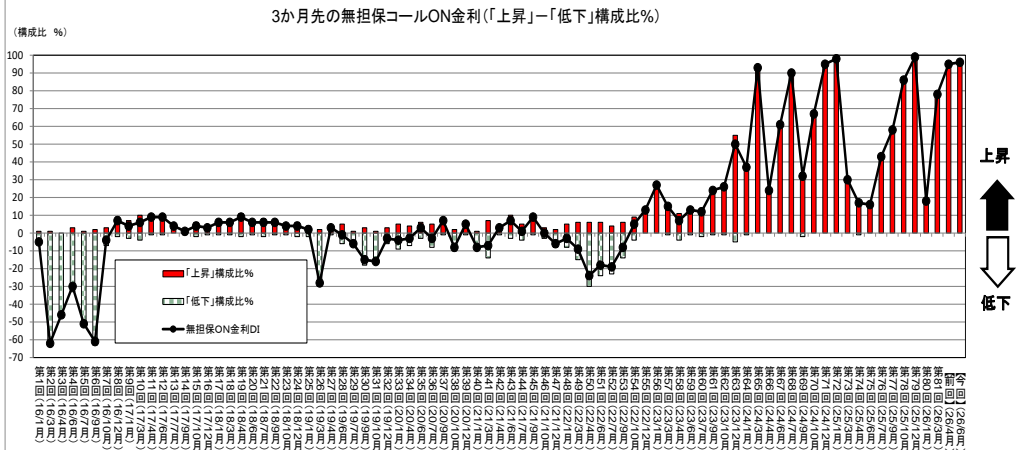
(Q 2) 3か月先の「無担保コールON金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

回答者全体の96%が「上昇」と予想、「低下」の予想は0%で、「不変」とみている先は4%であった。

前回との比較では、「上昇」とみる先は+1%ポイント(前回95% → 今回96%)。

「低下」とみる先は±0%ポイント(前回0% → 今回0%)。

「不変」とみる先は▲1%ポイント(前回5% → 今回4%)。



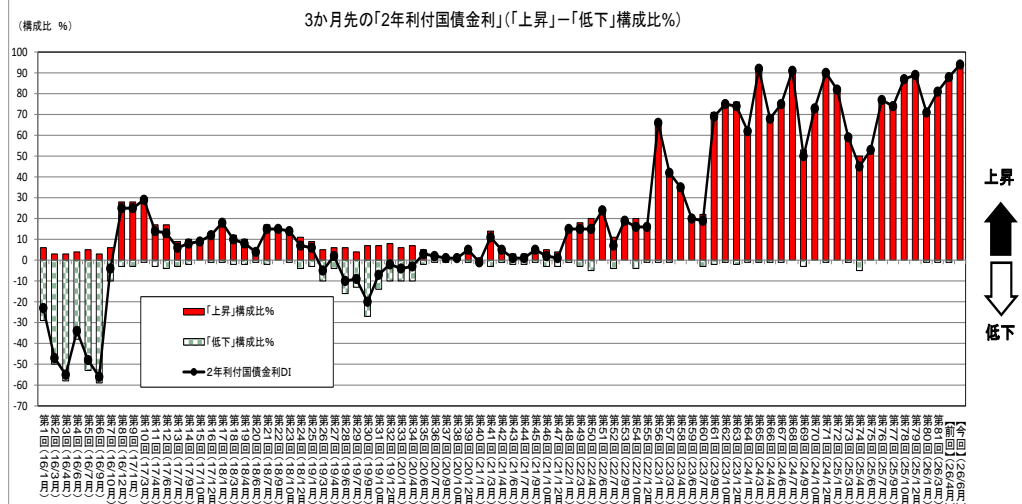
(Q 3) 3か月先の「2年利付国債金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

回答者全体の94%が「上昇」を予想、「低下」とみる先は0%で、「不変」を予想した先は6%であった。

前回との比較では、「上昇」とみる先は+5%ポイント(前回89% → 今回94%)。

「低下」とみる先は▲1%ポイント(前回1% → 今回0%)。

「不変」とみる先は▲4%ポイント(前回10% → 今回6%)。



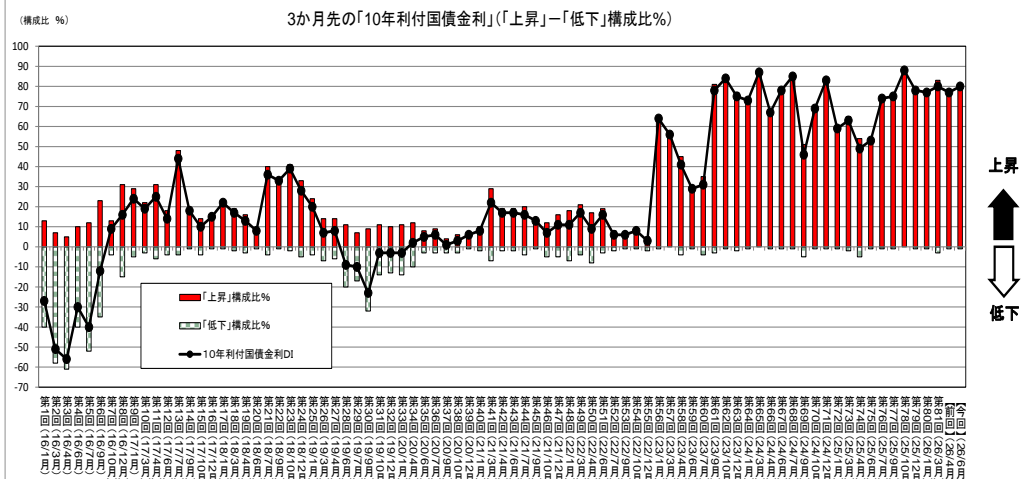
(Q 4) 3か月先の「10年利付国債金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

回答者全体の81%が「上昇」を予想、「低下」とみる先は1%で、「不変」を予想した先は18%であった。

前回との比較では、「上昇」とみる先は+3%ポイント(前回78% → 今回81%)。

「低下」とみる先は±0%ポイント(前回1% → 今回1%)。

「不変」とみる先は▲3%ポイント(前回21% → 今回18%)。



【調査結果の詳細】

調査日	2026年6月9～11日
調査先	156先
回答率	92.3%

**（Q1）日本銀行の次回の金融政策決定会合（6月15日～6月16日）における決定内容について、どのような結果になるとみているのか。**

	(今回)	(前回4月24日)	変化幅
緩和	0 (構成比%)	0	± 0
不変	0	100	▲ 100
引締	100	0	+ 100
<hr/>			
上田八木・金融政策インデックス（「引締め」-「緩和」構成比%）	100	0	+ 100

**（Q2）3か月先の「無担保コールON金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。**

	(今回)	(前回4月24日)	変化幅
低下	0	0	± 0
不変	4	5	▲ 1
上昇	96	95	+ 1
<hr/>			
短期金利予想DI	96	95	+ 1

**（Q3）3か月先の「2年利付国債金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。**

	(今回)	(前回4月24日)	変化幅
低下	0	1	▲ 1
不変	6	10	▲ 4
上昇	94	89	+ 5
<hr/>			
2年国債金利予想DI	94	88	+ 6

**（Q4）3か月先の「10年利付国債金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。**

	(今回)	(前回4月24日)	変化幅
低下	1	1	± 0
不変	18	21	▲ 3
上昇	81	78	+ 3
<hr/>			
10年国債金利予想DI	80	77	+ 3

【本調査に関する照会先】 企画部 植木、青木  
(電話 03-3270-1475)

### **上田八木・金融政策サーベイとは**

弊社と取引のある、銀行などの預金取扱等金融機関、証券会社、保険会社、事業法人などの幅広い市場取引関係者に対し、日本銀行の金融政策に関する予想や各種金利の先行き見通しについて、定期的にヒアリングを実施しているもの。調査時期は日本銀行の金融政策決定会合開催日（臨時開催を除く）の2～4営業日前としている。2016年1月に調査開始し、以後、一部の特別調査を除き、設問内容を変えずに継続しており、金融市場参加者を対象とした定点観測調査として、長期に渡る実績を有している。

本資料は投資環境等に関する情報提供を目的として作成したものです。本資料は投資勧誘を目的とするものではありません。

有価証券等の取引には、リスクが伴います。投資についての最終決定は、投資家ご自身の判断と責任においてなされるようお願いいたします。当社は、いかなる投資の妥当性についても保証するものではありません。

記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。

### **上田八木短資株式会社**

登録金融機関 近畿財務局長（登金）第243号

東京本社 〒103-0022 東京都中央区日本橋室町1丁目2番3号 TEL：03-3270-1711（代表）

大阪本社 〒541-0043 大阪府大阪市中央区高麗橋2丁目4番2号 TEL：06-6202-5551（代表）

加入協会 日本証券業協会